

J-GATE

発注画面ですぐわかる！ 「大証J-GATE」 注文方法 & ルール変更

日経225先物・日経225オプション 制度変更のポイントをわかりやすく解説



大証J-GATE稼働に伴う日経225先物・オプション取引の制度変更のポイントの内、特に注意が必要な注文方法を発注画面を使ってご説明します。自動売買等の発注方法の理解にも役立つと思います。さらに詳細はお取引ルール等をご参照ください。

カブドットコム証券

執行役 営業本部長 白田琢美



ルールも変わる大証「J-GATE」

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

大証次期デリバティブシステム「J-GATE」は、システムの刷新だけでなく取引制度/ルールも一部変更されます。**取引時間や「成行」「指値」等のご注文自体も変わります**ので、日経225先物、日経225オプションをお取引の際は十分ご注意ください。

●注文方法が変わります

従来の「成行」は無くなる等、大証J-GATEでは注文方法が大きく変わります。成行/指値/最良執行指値等の注文方法と、FAS/FAK/FOKという執行数量条件を組み合わせで指定します。

※成行注文は、発注時点で約定しなかった残数量分が板に残らず失効となります。

→ 詳細は6ページから

●取引時間が変わります

昼休みが廃止され日中の取引は9:00～15:15の「一場制」となります。また取引の開始時と終了時の価格決定方法が変わり従来の「寄付」「引け」「不成」も無くなります。

※注文のみ受け付ける「プレ・オープニング」「プレ・クロージング」が設けられます。

→ 詳細は5ページ

大証が投資家の利便性や国際的な市場間競争力を向上させる観点から導入したのが、多くの取引所で使われている海外のシステム。それゆえ、なじみの薄い言葉や制度がありますが、これに限らず段々効率的なシステムや制度に変わっていくでしょうから慣れていきましょう。

もちろん当社ならではの自動売買も対応し、さらに便利にお取引いただけるようにしていきます。ぜひ使いこなしてお客さまならではの自分に合ったお取引にお役立てください！

日経225先物/オプション取引の**発注画面**もこれに伴い変わります。次のページから順を追って説明していきますので、まずは仕組みをご理解ください。

東証の先物取引は従来通りですので、どうしてもJ-GATEに馴染めないという方は、TOPIX先物はじめ東証の先物取引のご活用もご検討ください。手数料は1枚あたりTOPIX先物が525円、ミニTOPIX先物/東証REIT指数先物/TOPIXcore30先物が52.5円です。

大証J-GATEは、2011年2月14日から稼働予定です。



マッチングルールの変更

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

大証「J-GATE」は海外のシステムを採用することにより、日本独自の「同時呼値ルール」を廃止し、「板寄せ方式」による約定値段の決定方法を見直します。これにより、「ストップ配分」が無くなり、常に「価格優先・時間優先」での取引となります。

●同時呼値ルールの廃止

大証J-GATEでの取引は、常に「価格優先・時間優先の原則」が適用され、同時呼値ルールは廃止されます。同ルールを適用している「ストップ配分ルール」も廃止されます。

「同時呼値ルール」とは、取引開始前の注文はすべて同時に発注されたものとして時間優先を適用しない等の特殊なルールです。主に始値決定の際に用いられますが、これは場立ちが手サインで注文を成立させていた時代の名残で、システム化された現代においては必要なものではなく、むしろ複雑であるためシステム負担が大きいためトラブルの元となりやすいと言われています。

「買い注文が殺到し、ストップ高比例配分」というのも無くなります。ここでご紹介しているのは主な変更点ですので、詳細はお取引ルールをご参照ください。



●板寄せ方式による約定値段決定方法の見直し

「プレ・オープニング」「プレ・クロージング」が導入され、成行注文も全数量の約定が保証されるわけではありません。取引開始時には板寄せ方式での約定の有無にかかわらずザラバに移行します。

これまでの「寄付」と「引け」が大きく変わります。ちょっと専門的でややこしいので、最初と最後のやり方が変わるという点と、寄付/引け/不成といった注文方法が無くなることやザラバと同じ成行注文でも全数量約定するわけではない点をまずは押さえておきましょう。

ホントはこの後の注文方法や取引時間の変更の方が重要なのですが、マッチングルールの変更がベースなのではじめにポイントだけ解説しました。



取引時間の変更

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

昼休みが廃止され日中の取引は9:00～15:15の「一場制」となります。また取引の開始時と終了時の価格決定方法が変わりプレ・オープニング、プレ・クロージングで板寄せ方式による取引が行われます。従来の「**寄付**」「**引け**」「**不成**」も無くなります。

日中立会	8:00 ～ 9:00	プレ・オープニング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・オープニング)。 9:00=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなければ、ザラバに移行)。	取引日	営業日
	9:00 ～ 15:10	レギュラーセッション (ザラバ)	現行と同じザラバ方式による取引が原則(取引の一時中断又は停止を行った場合は、板寄せ方式により取引再開)。		
	15:10 ～ 15:15	プレ・クロージング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・クロージング)。 15:15=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなくても現行どおり、ザラバ引け)。		
イブニング・セッション	16:15 ～ 16:30	プレ・オープニング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・オープニング)。 16:30=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなければ、ザラバに移行)。	翌取引日	
	16:30 ～ 23:25	レギュラーセッション (ザラバ)	現行と同じザラバ方式による取引が原則(取引の一時中断又は停止を行った場合は、板寄せ方式により取引再開)。		
	23:25 ～ 23:30	プレ・クロージング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・クロージング)。 23:30=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなくても現行どおり、ザラバ引け)。		

取引時間の最初と最後に注文だけを受け付ける時間を設けて最初と最後の取引を行う、というのがプレ・オープニングとプレ・クロージング。従来の寄付と引けの代わりにというわけです。これにより「寄付」「引け」「不成」の注文が無くなります。

当社では「不成」の代わりに「**引け前訂正指値**」というオリジナル自動売買を新たに提供します。 → 詳細は10ページ



注文方法の変更～執行数量条件

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

大証「J-GATE」では、成行/指値/最良執行指値等の注文方法と、FAS/FAK/FOKという執行数量条件を組み合わせで指定します。従来と大きく異なる点ですので、順を追って説明していきます。

●執行数量条件

まずはこちらの発注画面の抜粋をごらんください。指値や成行の後ろに「FAS」とか「FAK」を選択する形になっています。これが今回新たに加わる「**執行数量条件**」というものです。

※画面は開発中のもので変更する場合があります。



以下の表が執行数量条件の概要です。発注後に約定しなかった注文が残った場合等に、残った数量の注文をどうするか？を指定するものです。FASが残す、FAKが残さない、FOKは全約定か全失効で中途半端はナシ。

執行数量条件	概要
FAS 通常条件 Fill And Store	一部約定後に未執行数量が残る場合には、 <u>当該残数量を有効とする条件</u> (現行と同じ)
FAK 残数量取消条件 Fill And Kill	一部約定後に未執行数量が残る場合には、 <u>当該残数量を失効させる条件</u>
FOK 全数量執行条件 Fill Or Kill	<u>全数量が直ちに約定しない場合には、当該全数量を失効させる条件</u>

ちなみに、頭文字Fは同じですから、「明日(AS)残す」「秋(AK)失効」「全部OK(OK)」と語呂合わせで覚えるのも手です。ちなみに読み方は「FAS＝フィル・アンド・ストア」「FAK＝フィル・アンド・キル」「FOK＝フィル・オア・キル」。



注文方法の変更～指値注文

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

指値注文は「指値FAS」で従来同様の指値注文が可能です。3つすべての執行数量条件が選択可能ですのでFAS/FAK/FOKを理解するには最適です。特に条件を付ける必要がなければ「指値FAS」が良いので実はそんなに難しくありません。

●指値

「指値FAS」を選べば従来の指値注文と同じですので、特に必要がなければこれを選べば混乱せず従来通りの指値注文が行えます。

指値FAS

従来の指値と同等。未約定分は板に残ります。

指値FAK

未約定分は板に残らず失効する指値注文。

指値FOK

全数量が直ちに約定しない場合はキャンセルされる指値注文。

引指

クロージング・オークション(日中、夜間)になったら指値注文を発注するカブドットコム証券独自の執行条件です。

★この板の状態で各種発注を行った場合の基本例

売	価格	買
	10550	
6	10540	
3	10530	
4	10520	
	10510	5
	10500	7
	10490	2
	10480	

(例1) 指値FASで、10520円で10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、10520円に6枚買い板残る。

(例2) 指値FAKで、10520円で10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、残り6枚は板に残らず失効。

(例3) 指値FOKで、10520円で10枚の買い注文
→ 全数量約定できないので、すべて失効。

(例4) 指値FOKで、10540円で10枚の買い注文
→ 10540円以下で、10枚全約定。

(例5) 引指で、10520円で5枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、残り1枚は失効。

こうやって見ていくと従来の指値よりもきめ細かい条件が設定できることがわかります。仮に自分は使わなくても他の投資家は使っているかもしれないわけですから理解しておいて損はないですよ。

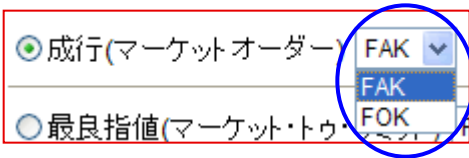


注文方法の変更～成行注文

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

成行注文には「板に残すFAS」は無く、未約定数量は板に残らず失効する形となり、従来の成行注文とは異なります。また、**板寄せ時含め全数量の約定が保証されているわけではありません**。まずは勘違いしないようにしましょう。

●成行



成行注文には従来と同じ注文方法はありません。未約定分は板に残りません。目的に応じて類似する注文方法を選びましょう。

成行FAK

未約定分は板に残らず失効する成行注文。

成行FOK

全数量が直ちに約定しない場合はキャンセルされる成行注文。



※成行注文はどちらを選んでも未約定が板に残りません。

★この板の状態で各種発注を行った場合の基本例

売	価格	買
	10550	
	10540	
3	10530	
4	10520	
	10510	5
	10500	7
	10490	2
	10480	

(例1) 成行FAKで、**10枚**の買い注文
→ 10530円までで7枚約定、残り3枚は板に残らず失効。

(例2) 成行FAKで、**4枚**の買い注文
→ 10520円で、4枚全約定。

(例3) 成行FOKで、**10枚**の買い注文
→ 全数量約定できないので、すべて失効。

(例4) 成行FOKで、**10枚**の売り注文
→ 10500円以上で、10枚全約定。

基本的には発注して即座に結果が出ますので、未約定分も約定させたければ残りを再度発注することになります。板の厚い銘柄なら余程大量の注文でない限り約定するのでそれほど心配ありません。



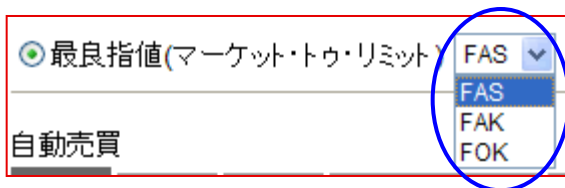
注文方法の変更～最良指値注文

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「最良指値」とは価格の限度を指定せず、発注時点で最良の呼値(気配)に対当させる指値注文です。発注時点の板上で一番安く買える価格/一番高く売れる価格での指値となります。指値よりも機動的で成行に近い指値注文と言えます。

●最良指値

New!



最良指値は成行のように価格を指定しないけど板に合わせた指値になる便利な注文方法です。板の厚い銘柄なら意外と使い勝手良いでしょう。

最良指値FAS

価格を指定せず最良の売呼値または買呼値に対当する指値注文。未約定分は板に残ります。

最良指値FAK

価格を指定せず最良の売呼値または買呼値に対当する指値注文。未約定分は板に残らず失効します。

最良指値FOK

価格を指定せず最良の売呼値または買呼値に対当する指値注文。全数量が直ちに約定しない場合はキャンセルされます。

★この板の状態で各種発注を行った場合の基本例

売	価格	買
	10550	
6	10540	
3	10530	
4	10520	
	10510	5
	10500	7
	10490	2
	10480	

(例1)最良指値FASで、10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、10520円に6枚買い板残る。

(例2)最良指値FAKで、10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、残り6枚は板に残らず失効。

(例3)最良指値FOKで、10枚の買い注文
→ 全数量約定できないので、すべて失効。

(例4)最良指値FOKで、3枚の買い注文
→ 10520円で、3枚全約定。

指値だと瞬時に値が動き売買し損なうリスクがあるので、その時に買える/売れる気配での指値となる最良指値なら「指値価格を指定せず、かといって成行のように値が離れすぎない」というわけです。



注文方法の新設～引け前訂正指値【オリジナル】

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「不成(不出来引け成行)」注文の廃止の代替手段として、当社独自の注文方法をご用意しました。指値注文がザラバ中に約定しなかった場合、プレ・クロージングで自動的に指値を訂正してより約定しやすくするためにご利用いただけます。

●引け前訂正指値 ～指値バージョン～

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ 時間指定注文 **引け前訂正指値**

●引け前訂正指値

指値(FAS) 10320 円 ▲ ▼ **① 指値FASを出して**

プレ・クロージングになったら **② 約定しなかったらプレ・クロージングで**

● 指値(FAS) ザラバ最終価格 + ▼ 10 円 ← **③ 指値を訂正する。**
 ザラバ最終価格にプライマイで指定するか、指値で指定するか選べます。

○ 指値(FAS) 10340 円 ▲ ▼

○ 成行(FAK)

＜例1＞引け前訂正指値で、指値FAS10320円1枚買い。プレ・クロージングになったらザラバ最終価格+10円に指値訂正。

ザラバ
 ← 10350円～10450円 →

＜例2＞引け前訂正指値で、指値FAS10320円1枚買い。プレ・クロージングになったら指値10340円に訂正。

10370円に訂正。

ザラバ最終価格
 10360円

10340円に訂正。

10350円で約定。

クロージング価格
 10350円

未約定。

「不成(不出来引け成行)」の代替注文として利用できるだけでなく、訂正後の注文を「指値(リミットオーダー)」とすることで、ザラバ最終価格より想定以上乖離した価格で約定してしまうことを回避できます



注文方法の新設～引け前訂正指値【オリジナル】

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「不成(不出来引け成行)」注文の廃止の代替手段として、当社独自の注文方法をご用意しました。指値注文がザラバ中に約定しなかった場合、**プレ・クロージングで自動的に成行へ訂正**することで、より約定しやすくするためにご利用いただけます。

※画面は開発中のもので変更する場合があります。

●引け前訂正指値 ～成行バージョン **New!**

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ 時間指定注文 **引け前訂正指値**

引け前訂正指値

指値(FAS) 10320 円 ▲ ▼

プレ・クロージングになったら ←

指値(FAS) ザラバ最終価格 + ▼ 円

指値(FAS) 円 ▲ ▼

成行(FAK) ←

① 指値FASを出して

② 約定しなかったらプレ・クロージングで

③ 成行(FAK)を選択します。

ザラバ
10350円～10450円 →

＜例＞引け前訂正指値で、指値FAS10320円1枚買い。プレ・クロージングになったら**成行(FAK)**に訂正。

ザラバ最終価格
10360円 →

成行(FAK)に訂正。

クロージング価格
10350円 →

10350円で約定。

ご要望が多かった「不成(不出来引け成行)」の代替注文が選択できるようになりました。

①の指値で未約定(不出来)の場合に、プレ・クロージングで「成行(FAK)」へ自動訂正することで従来の「不成(不出来引け成行)」と同じ注文形態が再現できるというわけです。



注文方法の変更～逆指値・W指値

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

弊社独自の自動売買は根本的には変わらないものの、取引所の注文方法の変更により微妙に変更点があります。複雑な変更ではないので、発注画面を見て何が出来るかをご確認いただければご理解いただけるかと思えます。

●逆指値

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ 時間指定注文

逆指値

値段が 10300 円 以下 になったら

成行(FAK) 指値(FAS) 10295 円

① 値段の条件を設定して

② 条件に合致したら発注する注文を、「成行FAK」か「指値FAS」を選び指定します。

条件に合致した時点で「成行FAK」もしくは「指値FAS」が取引所に発注されます。板状況や設定内容によっては約定しない場合もあるのは通常注文と同じです。

<例: 現在値10350円> 逆指値で、値段が10300円以下になったら、指値FAS10295円で売り注文を発注する注文。

ちなみに、指値/成行/最良指値で相互の訂正はできません。指値は指値の値段訂正はできますが、成行には訂正できません。注文の種類の変更はできないので、変更したい場合は取り消して新たな発注が必要です。



●W指値

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ 時間指定注文

W指値

指値(FAS) 10350 円

値段が 10300 円 以下 になったら

指値(FAS) 10295 円

① 指値FASを入力します

② 値段の条件を設定して

③ 条件に合致したら訂正する値段を入力します。

<例: 現在値10320円> W指値で、指値FAS10350円の売り注文を発注し、値段が10300円以下になったら、指値FAS10295円の売り注文に訂正する注文。

条件合致後の訂正内容は、指値FASの値段のみなので、約定の確率を高めたい場合は、条件とした値段より余裕を持った値段に訂正するとよいでしょう。

注文方法の変更～±指値・トレーリングストップ

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

弊社独自の自動売買は根本的には変わらないものの、取引所の注文方法の変更により微妙に変更点があります。複雑な変更ではないので、発注画面を見て何が出来るかをご確認いただければご理解いただけるかと思えます。

● ±指値

自動売買

逆指値 W指値 **±指値** トレーリングストップ 時間指定注文 引け前訂正注文

±指値

値段が始値 + 50 円 以上 になったら

成行(FAK) 指値(FAS) 始値 + 55 円

① 始値±の条件を設定して

② 条件に合致したら発注する注文を、「成行FAK」か「指値FAS」を選び指定します。

<例> ±指値で、値段が始値 + 50円以上になったら、始値 + 55円の指値FASで買い注文を発注する注文。

例えば、始値が10300円なら、10350円になった時点で、10355円の買い注文が発注されます。

● トレーリングストップ

自動売買

逆指値 W指値 ±指値 **トレーリングストップ** 時間指定注文 引け前訂正指値

トレーリングストップ(自動修正付き逆指値)

買い 値段が安値 + 円 以上になったら → 成行(FAK)
 (※)発注時は現在安値(10,100円)からの逆指値

売り 値段が高値 - 50 円 以下になったら → 成行(FAK)
 (※)発注時は現在高値(10,200円)からの逆指値



① トレーリングストップの条件を設定します。条件合致時に発注される注文は成行FAKのみ。

<例> トレーリングストップで、値段が高値 - 50円以下になったら、成行FAKの売り注文を発注する注文。

この例では、発注時点では高値が10200円なので10150円以下になれば成行FAKの売りが発注されます。もし高値が10210円になれば10160円、高値が10230円になれば10180円、が成行FAKを発注する条件となります。

注文方法の変更～時間指定注文①

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「〇時〇分になったら」「〇分後になったら」といった時間を指定して発注/訂正/取消できる自動売買で、「時間指定指値・成行」、「時間指定取消付き指値」、「時間指定訂正付き指値」、「時間指定W指値」の4種類があります。

●時間指定注文

時間指定注文は当社独自の、時間を条件とするまったく新しい概念の自動売買です。「寄付いて5分後に出そう」とか「あと10分出してダメなら変更しよう」とかよくある行動を事前に設定できる優れたものです。時間指定指値・成行は、いつでも発注可能ですが、その他はザラバの最初と最後に発注できない時間もあります。



・時間指定指値・成行

「〇時〇分になったら発注」と指定された時間に発注を行う自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定指値・成行

09 時 05 分になったら

成行(FAK) 指値(FAS) 円

＜例＞9時5分になったら、成行FAKで発注する注文。

① 発注する時間を設定して

② 指定した時間になったら発注する注文を、「成行FAK」か「指値FAS」を選び指定します。

・時間指定取消付き指値

「〇分後までに」と指定された時間までに約定しなければ注文を取り消す自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定取消付き指値

指値(FAS) 10250 円

発注完了より 10 分後 までに約定しない場合、取消

＜例＞指値FAS10250円が、発注完了10分後までに約定しなければ取り消しする注文。

① 指値FASを入力します

② 取り消しする時間を指定します。

注文方法の変更～時間指定注文②

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「〇時〇分になったら」「〇分後になったら」といった時間を指定して発注/訂正/取消できる自動売買で、「時間指定指値・成行」、「時間指定取消付き指値」、「時間指定訂正付き指値」、「時間指定W指値」の4種類があります。

●時間指定注文

・時間指定訂正付き指値

「〇分後までに」と指定された時間までに約定しなければ注文を訂正する自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定訂正付き指値

指値(FAS) 10250 円 ▲ ▼

発注完了より 20 分後 までに約定しない場合

指値(FAS) 10200 円 ▲ ▼

＜例＞ 指値FAS10250円が20分後までに約定しない場合、指値FAS10200円に訂正する売り注文。

① 指値FASを入力します

② 訂正するまでの時間を指定します

③ 条件に合致したら訂正する値段を入力します。

・時間指定W指値

W指値で指定された逆指値の価格条件が「〇分後までに」と指定された時間条件のどちらかの条件を満たした場合に注文を訂正する自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定W指値

指値(FAS) 10250 円 ▲ ▼

値段が 10300 円 以上 または

発注完了より 60 分後 までに約定しない場合

指値(FAS) 10300 円 ▲ ▼

＜例＞ 買い指値FAS10250円が60分後までに約定しないか、値段が10300円以上になった場合、指値FAS10300円に訂正する買い注文。

① 指値FASを入力します

② 値段の条件を設定して

③ 訂正するまでの時間を指定します

③ 条件に合致したら訂正する値段を入力します。

関連リンク

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

大証J-GATEの制度変更はご理解いただけましたでしょうか？

詳細・最新情報は下記リンク先ページをご参照ください。

先物オプションが、末永く皆さまの資産運用のお役に立てることを心から願っております。

- ・ [先物・オプションの説明ページ](#)
- ・ [先物・オプションお取引ルール](#)
- ・ [先物・オプション手数料](#)
- ・ [先物・オプションお取引時間](#)
- ・ [先物・オプションQ&A](#)
- ・ [お取扱商品の重要事項の説明](#)
- ・ [先物・オプションの動画セミナー](#)
- ・ [kabuステーションのご案内](#)
- ・ [WEB審査手順](#)
- ・ [CME日経225先物\(夜間先物取引\)](#)
- ・ [オプション投資戦略](#)
- ・ [オプション・シミュレーター](#)
- ・ [証拠金シミュレーター](#)
- ・ [先物オプション速報ニュース](#)
- ・ [J-GATEのご案内\(大証\)](#)

- 当資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスや商品のご紹介/勧誘を目的としています。
- お取引の際は、約款・規定集(<http://kabu.com/service/clauses.asp>)、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)、お取扱商品の重要事項の説明(<http://kabu.com/company/policy/inducement.asp>)等を良くお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール(<http://kabu.com/service/rule.asp>)等を良くご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。
- 証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。各商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等が必要です。手数料には消費税が含まれます。詳しくは当社の手数料ご案内ページ(<http://kabu.com/cost/>)等をご参照ください。
- 信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。また、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。お取引に際しては、信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引の契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- 掲載情報は2011年11月18日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

商号:カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業登録番号:関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可番号:関東財務局長(銀代)第8号

加入協会:日本証券業協会、金融先物取引業協会



カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。

